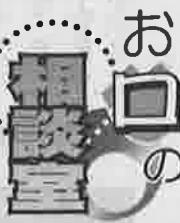


【問い合わせ】歯周病はいつの間にか進行して全身にも影響を与えると聞いています。歯周病が進行しないためにも、お口の定期健診はどれくらいの頻度で行けばいいでしょうか。

(佐世保市、30歳女性)

【答える】口の定期健診は成人なら3カ月に1回程度が望ましいといえます。

理由は、歯の形は複雑で日々のブラッシングで歯垢



(しきう)を完璧に取り除くことが難しいからです。さらに歯並びに問題がある方や、かぶせ物をしている方はさらに難しくなります。

（しきう）を完璧に取り除す。ブラッシングが難しい所には歯垢がたまりやすく、これが長期間残つたままになると、むし歯や歯周病の

たらす影響の研究が進められています。歯周病は糖尿病、心臓血管疾患、関節リウマチなどと同じように慢性疾患であると同時に慢性的疾患であ

ます。医科においてはメタボリック症候群として、さまざまな病気を引き起こしやすい状態を取り上げ、慢性疾患の予防に取り組んでいます。これは成人だけではなく肥満傾向の子どもにも当てはまります。

口は「命の入り口」、心の中では歯周病の人は低体重児出産や早産の確率が高く、高齢や認知症、脳血管障害、手術後などで飲み込みがう

まくできない人は誤嚥(ごん)性肺炎を引き起こしやすいのです。

慢性疾患発病の背景には運動や食生活を含めた生活习惯の乱れが指摘されています。医科においてはメタボリック症候群として、さまざまなかな病気を引き起こしやすい状態を取り上げ、慢

性疾患の予防に取り組んでいます。これは成人だけでも当ではあります。

口は「命の入り口」、心の中では歯周病の人は低体重児出産や早産の確率が高く、高齢や認知症、脳血管障害、手術後などで飲み込みがう

まくできない人は誤嚥(ごん)性肺炎を引き起こしやすいのです。

慢性疾患発病の背景には運動や食生活を含めた生活習慣の乱れが指摘されています。医科においてはメタボリック症候群として、さまざまなかな病気を引き起こしやすい状態を取り上げ、慢

性疾患の予防に取り組んでいます。これは成人だけでも当ではあります。

口は「命の入り口」、心の中では歯周病の人は低体重児出産や早産の確率が高く、高齢や認知症、脳血管障害、手術後などで飲み込みがう

歯周病予防健診は?

磨きにくいところ確認、清掃

原因となります。日々のブラッシングは大切ですが、磨きにくい所を定期健診で確認し、清掃することで、むし歯や歯周病を予防することができます。

近年、歯周病が全身にも

あります。これは成人だけでも当ではあります。

口は「命の入り口」、心の中では歯周病の人は低体重児出産や早産の確率が高く、高齢や認知症、脳血管障害、手術後などで飲み込みがう

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。